

各位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証 1部)
本社所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
代表者	代表取締役社長 仲尾 功一
問合せ先	執行役員事業管理本部長 掛見 卓也
TEL	(077) 565-6970
URL	http://www.takara-bio.co.jp/

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2020年8月4日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2021年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正

(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,870	2,500	2,559	1,248	10 37
今回発表予想 (B)	17,393	3,824	3,907	2,335	19 39
増減額 (B - A)	522	1,324	1,348	1,086	-
増減率 (%)	3.1	53.0	52.7	87.1	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	16,450	3,035	2,961	2,075	17 23

2. 修正の理由

前回予想(2020年8月4日公表)では、主として新型コロナウイルス感染症拡大によるPCR検査関連製品の需要増、ワクチン製造受託の引き合いについて、可能な範囲で予想を上方に修正し公表いたしました。

その後、PCR検査関連製品の需要はさらに強く、売上高は、前回予想を上回って推移いたしました。その結果、売上構成の変化や生産稼働率の向上により、売上原価率が改善し、売上原価は、減少する見通しとなりました。また、販売費および一般管理費については、管理費を中心に予想未達となる見通しです。

上記理由により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において、それぞれ前回予想を上回る見込であることから、当第2四半期累計期間の連結業績予想を修正するものであります。

なお、通期予想はさらに精査し2020年11月10日の第2四半期累計期間の決算発表時に公表する予定です。

以上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。